

「平成24年度（2012年度）大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査」結果の概要について

独立行政法人日本学生支援機構では、全国の大学、短期大学及び高等専門学校を対象に障害のある学生（以下、「障害学生」という。）の修学支援に関する実態調査を毎年実施している。

平成24年度では、障害学生数は11,768人（全学生数に対する割合0.37%）で前回調査より1,532人増加した。在籍学校数は前回調査より14校減って793校となり、回答校数1,197校の66.2%となっている。また、卒業生数は1,660人で、そのうち進学者は179人、就職者は831人となっている。（グラフ参照）

※障害学生・・・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生。

調査概要及び回収状況

- (1)目的：障害学生の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2)対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。）、短期大学（部）（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。）及び高等専門学校（専攻科を含む。）
- (3)調査方法：悉皆調査
各学校が日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロード。回答を記入後、メール添付にて提出。
- (4)調査期日：平成24年5月1日現在
- (5)回収状況：回答校数1,197校（前年度1,206校）（回収率99.9%（同100.0%））

